

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価

令和2年10月20日

校長 佐藤 剛

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/> E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童，保護者，教職員による学校評価のアンケートを行いました。その結果をお知らせします。
アンダーラインをひいているのは，昨年度の同時期と比べて，数値が高い箇所です。良くなっているところは，養正校の強みとして考え，課題は，今後の教育活動で改善していく所存です。

○第1回学校評価アンケート結果（9月）＊数値は％です。

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない プラス…ABの合計 マイナス…CDの合計

		A	B	C	D	プラス	マイナス
①子どもたちは，授業中，すすんで意見を発表し，先生や友達の話をしっかり聞いている。	児童	47.6	46.1	5.5	0.8	93.7	6.3
	保護者	25.5	67	7.5	0	92.5	7.5
	教職員	14.3	85.7	0	0	100	0
②子どもたちは，授業中，ノートをしっかり書いている。	児童	75.2	21.8	3	0	97	3
	保護者	32.1	52.8	14.2	0.9	84.9	15.1
	教職員	42.9	57.1	0	0	100	0
③子どもたちは，すすんで読書をしている。	児童	45	35.1	18.3	1.5	80.2	19.8
	保護者	32.1	24.5	33	10.4	56.6	43.4
	教職員	50	50	0	0	100	0
④子どもたちは，決めた家庭学習をしている。	児童	78.5	15.3	3.1	3.1	93.8	6.2
	保護者	31.8	48.6	15	4.6	80.4	19.6
	教職員	35.7	42.9	21.4	0	78.6	21.4
⑤子どもたちは，相手の気持ちを考えて，優しくすることができている。	児童	58.2	35.8	6	0	94	6
	保護者	36.4	57.9	4.7	0.9	94.4	5.6
	教職員	6.7	86.7	6.7	0	93.3	6.7
⑥子どもたちは，時や場に応じた言葉づかいをしている。	児童	43.6	41.4	12.8	2.2	85	15
	保護者	32.7	49.5	15.9	1.9	82.2	17.8
	教職員	6.7	80	13.3	0	86.7	13.3
⑦子どもたちは，家や学校でほめられている。	児童	53.1	36.1	7.7	3.1	89.2	10.8
	保護者	40.7	45.4	13.9	0	86.1	13.9
	教職員	13.3	86.7	0	0	100	0

⑧子どもたちは，困ったことがあれば，家の人や先生に相談している。	児童	56	28.3	11.2	4.5	84.3	15.7
	保護者	38.7	50.9	9.4	1	89.6	10.4
	教職員	33.3	66.7	0	0	100	0
⑨子どもたちは，楽しく学校に通っている。	児童	77.4	15.8	3.8	3	93.2	6.8
	保護者	56.5	42.6	0.9	0	99.1	0.9
	教職員	53.3	46.7	0	0	100	0
⑩子どもたちは，学校のルールを守っている。	児童	53.7	42.6	3	0.7	96.3	3.7
	保護者	44.8	52.4	1.9	1	97.1	2.9
	教職員	20	80	0	0	100	0
⑪子どもたちは，テレビやゲーム，スマホの約束を守っている。	児童	60.9	25.6	8.3	5.2	86.5	13.5
	保護者	11.9	33	39.4	15.6	45	55
	教職員	20	40	40	0	60	40
⑫子どもたちは，気持ちのよいあいさつをしている。	児童	71.6	23.2	3.7	1.5	94.8	5.2
	保護者	33.7	47.1	18.2	1	80.8	19.2
	教職員	43.8	43.8	12.5	0	87.5	12.5
⑬子どもたちは，すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	59.4	30.8	5.3	4.5	90.2	9.8
	保護者	38.3	29	30.8	1.9	67.3	32.7
	教職員	33.3	46.7	20	0	80	20
⑭子どもたちは，早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	52.6	28.6	15	3.8	81.2	18.8
	保護者	28.7	44.4	24.1	2.8	73.1	26.9
	教職員	6.7	86.7	6.7	0	93.3	6.7
⑮子どもたちは，歯磨きの習慣が身についている。	児童	47.3	44.3	7.6	0.8	91.6	8.4
	保護者	38.7	46.2	13.2	1.9	84.9	15.1
	教職員	46.7	40	13.3	0	86.7	13.3
⑯学校は，整理整頓され，学習環境が整っている。	保護者	44.3	48.1	6.6	0.9	92.5	7.5
	教職員	50	50	0	0	100	0
⑰学校は，学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	保護者	60.2	37	2.8	0	97.2	2.8
	教職員	80	13.3	6.7	0	93.3	6.7
⑱学校は，PTA・地域と連携した教育を進めている。	保護者	47.7	49.5	2.8	0	97.2	2.8
	教職員	73.3	20	6.7	0	93.3	6.7

昨年度の課題より

今回の学校アンケートはコロナ禍の影響で例年の6月実施ではなく、9月にアンケートをとりました。アンケート実施の時期、コロナ禍での学校での学習や過ごし方、家庭での生活様式の変化など全く違うので、昨年度のデータと比べるのは難しいですが、まずは比較からみた昨年度の課題についてです。

昨年度の第一回目の本校の課題は、設問⑥と設問⑩を挙げました。設問⑥では、昨年度、児童のプラスは78.9％、保護者のプラスは78％、教職員のプラスは44.4％でした。本年度から児童の名前を呼ぶときには男女問わず「～さん」と学校全体で取り組んでいます。男女平等という観点もありますが、教職員も児童も「～さん」と呼ぶことで、話す時にていねいな言葉遣いを意識して話す子が多くなりました。また、職員室の出入りの仕方を定型の話し方にしたことなど1年間に様々な取り組みの成果から、今回プラスの高い評価に表れたのだと考えています。お家でも声をかけ続けて頂いたおかげでもあります。引き続き取り組んでいきたいと思います。設問⑩では、昨年度は児童のプラスが87.7％、保護者のプラスが92.7％、教職員のプラスが55.5％でした。教職員が低い評価だったので、児童会からの毎月の目標立てや学校のルールの再確認などに取り組んだ結果、こちらもプラスの高い評価が表れました。これまでの取り組みが浸透してきた成果だと考え、うれしく思います。こちらについても引き続き指導していきたいと考えています。

養正小学校の課題

今回のアンケートは、ほとんどの設問で児童・保護者・教職員ともにプラスの高い評価が結果として表れました。これについては、素直にうれしく、保護者の方が本校の取組にご理解頂いた結果です。その中で、設問⑬の保護者のマイナス評価が高いのは、このコロナ禍で学校の休校があり、生活スタイルも変わる中でなかなか外に出て遊ぶことに抵抗がある表れかもしれません。また、設問③の児童・保護者の評価が低いのは、課題と考えなくてはなりません。図書館司書と図書委員会が連携して様々な取り組みをしています。今後も読書に関心がもてる、読書が好きになる環境作りに引き続き取り組んでいきたいと考えています。

設問③・⑬も課題なのですが、今回の結果から設問⑪と⑭を重点課題とします。設問⑪については、コロナ禍で家で過ごすことが増え、スマホなどの利用時間が増えたと思います。学校と家庭の連携が必要だと思う課題であると考えます。また、設問⑭については、児童のマイナス評価が高いことから課題として挙げました。先日の夏休み明けの生活調べでも課題となる点があげられることから重点課題としたいと考えています。

設問⑪子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。に対する取組

児童のプラス評価は高いですが、保護者・教職員ともに評価は低くなっています。児童との使い方の理解度に差があると考えます。

- ・情報モラル授業を通して上手な使い方や危険性を確認していきます。
- ・情報モラルに対する自身の目標を立て、ご家庭と約束の共有ができるようにしていきます。
- ・長期休み明けの生活調べの結果を継続的に分析し、学校ニュース等で発信していきます。

⑥子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についているに対する取組

児童・保護者の評価は低いです。児童自身も長期休み明けなど一番意識して、改善目標にあげることが多い課題です。設問⑪のテレビやスマホ等の長時間利用と関連していることも考えられます。

- ・再度早寝・早起きなどの生活習慣の良さを児童自身が感じられるようにしていきます。
- ・長期休みだけでなく、定期的に意識できる取り組みをおこないます。
- ・生活調べ等の結果を発信し、ご家庭でも話ができるようにしていきます。

自由記述欄より

○コロナ禍の中、バレーボールや生け花などサークル活動をするのは時期尚早だと思います。子どもの行事ではなく大人の行事なので、なぜ開催されたのか理由が聞きたいです。

このコロナ禍の中、少しでも通常の形に戻せるように、情勢を見ながら教育活動を形や方法を変えて子どもの活動は行っております。PTA活動も参加の希望の方たちには、感染予防対策を行ったうえで、少しでも通常活動に戻せるように開催しております。これからも情勢をみながら、感染対策を行った上で開催できるものはしていきたいと思います。ご理解の程よろしくをお願いします。

○休校の為に授業時間が増えているのはしかたがないことですが、低学年の子たちは体力的にも少し負担になっている様子です。宿題を減らす等の対応をして頂きたいです。学校と習い事をしている子たちは、時間が足りません。

高学年にいたっては7時間授業になるなど子どもたちは負担を感じていることは、おっしゃる通りだと思います。1時間の授業を40分授業とすることで下校時間はわずかしかわらないようには工夫をさせてもらっています。休校になったことで学習に遅れがないように、宿題も含めて学習の工夫を考えていきたいと思います。

○コロナが流行している中、難しいとは思いますが、やはりどうしても思い出になる行事が少なく、寂しい様です。子どもたちも理解していると思いますが、何か代替案の行事があればいいと思います。

おっしゃるとおりです。しかし、「今年はコロナだったから」と思わせないぐらいの授業の中でたくさんの思い出が作れるように取り組んでまいります。また、体育参観が全校で行えたように養正小の少ない人数をメリットに情勢とコロナ対策を行った上で引き続き可能な限り行事を行っていききたいと考えています。

○恥ずかしがってあいさつが出来なかったのですが、どの先生もあいさつができるとたくさん褒めてくださるので、学校以外でも出来るようになりました。他の子からもあいさつしてもらえて気持ちがよく、うれしくなります。

学校では「スーパーあいさつ」を合い言葉に立ち止ってあいさつをすることに取り組んでいます。進んでスーパーあいさつをする子が多く、朝や下校時間は学校全体で気持ちのいい声が響いています。学校の外でも同じことができていくことに感激です。おそらく、お家でも気持ちのいいあいさつの声かけをしていただいているからだと思います。ありがとうございます。これからも、当たり前に行えるように続けていききたいと考えています。

○いつも一人一人の児童と向き合って頂き、いきとどいた指導に感謝しています。これからも児童達をやさしく、時には厳しくご指導よろしくお願いします。

ありがとうございます。それぞれの教職員が一人一人の児童の事を考え、そして教職員全員で向き合っていけるところが養正の強みだと自負しております。御言葉を真摯に受けとけ、これからも子ども達のために教育活動を進めていきたいと考えています。

○学年だけでなく学校全体で子どもたちを見守って下さっているのも、とても安心です。子どもが楽しく登校できるのは先生方のおかげです。

教職員全員で一枚岩になって取り組めるのが養正小学校の良い所だと自負しております。また、楽しく登校できるのは、ご家庭での教育の賜物でもあると思います。子ども達が楽しいと思える教育活動を今後も続けていきたいと思えます。本校の良い所を理解していただき、誠にありがとうございます。

学校運営協議会から

- ・朝に元気な挨拶をする子が増えている。学校の「スーパーあいさつ」の取組がしっかりと浸透しているのを感じている。
- ・テレビやゲーム、スマホについては、時間制限など家庭でのきまりの下で利用できるといい。また、また休校になった場合、オンライン授業についても同じようにきまりを守り進められるといい。